

## 小児慢性腎不全の治療に関する検討

### 小児慢性腎不全の予防と管理基準に関する研究 慢性腎炎，腎不全の疫学に関する研究

伊藤 拓

本研究班において慢性腎不全の治療，透析合併症の治療に関する種々の研究が行なわれ，評価に値する幾つかの知見を得ることが出来た。小児慢性腎不全の治療は近年著しい進展が見られているが，その一方で延命，治療の長期化に伴い新たな合併症が問題とされて来ている。本研究班に於ける検討結果がその解決の一助となり得る事を期待している。

#### 慢性腎不全，小児，治療

末期腎不全の治療は小児に於ても近年の透析，移植治療の進歩により著明な改善が得られて来ているが，尚，未だ完全なものではない。従って，何等かの手段によって予後不良の腎疾患の末期腎不全への進行を阻止，遅延させることが可能であれば極めて意義のあることと考えられる。今回私共は共同研究として小児慢性腎不全の食事療法の至適基準量とその効果，副作用について検討を行なった。まづ，小児期慢性腎不全300例のretrospective dataから原疾患別の発育遅延パターン，腎不全進行速度について推計的検討を行ない，対照群としての基礎的データを得た。次いで35例の慢性腎不全患児に低蛋白食を4から41ヶ月，平均7.3ヶ月摂取させ，腎不全の進行に及ぼす効果，発育，栄養状態に与える影響について検討した結果，治療前後で腎不全進行速度の改善が認められ，低蛋白食は明らかに有効と考えられた。低蛋白食の副作用については身体面では対照群に比して明らかなものは認められなかった。しかし，患児に与える精神的ストレスに就いては十分な配慮が必要と考えられる。以上の検討結果より，我々の設定した小児慢性腎不全治療食は効果，

副作用の面からはほぼ妥当なものと考えられる。しかし，今回の検討は治療観察期間が短期であるため，最終的な結論，特に治療の副作用についての結論を出すには，更に長期のデータを得る必要がある。

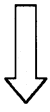
個別研究として胎児期及び出生直後に診断された尿路閉塞性疾患の治療と長期予後の検討，慢性腎不全の貧血に於けるエリスロポエチンの関与の検討が，透析患児の合併症に対する対策としてヘモジデロシスのデスフェールと血液濾過による治療，CAPDに伴う蛋白，脂質代謝異常に関して必須アミノ酸添加灌流液の検討結果が報告された。更に小児慢性腎不全治療の現状に就いて血液透析，CAPD，腎移植の成績が報告された。

小児慢性腎不全の治療が近年著しい進歩を遂げ，多くの患児の延命のみならず完全社会復帰も可能となってきていることは今回の検討結果からも明らかである。しかし，これらの治療も未だ完全なものではなく，延命，治療の長期化に伴い新たな合併症が問題となり，その対策に苦慮している事も事実である。本研究班に於ける検討結果がその解決の一助となり得る事を期待し，更に一層の努力をかたむける所存である。

都立清瀬小児病院小児科

Hiroshi Itou

Tokyo Metropolitan Childran's Hospital



## 検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用

論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



本研究班において慢性腎不全の治療,透析合併症の治療に関する種々の研究が行なわれ,評価に値する幾つかの知見を得ることが出来た。小児慢性腎不全の治療は近年著しい進展が見られているが,その一方で延命,治療の長期化に伴い新たな合併症が問題とされて来ている。本研究班に於ける検討結果がその解決の一助となり得る事を期待している。